

Pomp and Classics!

Seasonal News

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0031 東京都品川区西五反田8-1-1 鈴友ビル4F TEL 03-5719-7601

2017年10月31日発行 第18号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行) 発行人:西村友伸 編集人:徳永英樹
FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/

Y-Classic ~こども青少年クラシック音楽普及プロジェクト 119公演を紹介

<http://www.classic.or.jp/2015/07/y-classic.html>



一般社団法人

日本クラシック音楽事業協会

CLASSIC

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

ホーム

協会概要

事業・部会

会員企業情報

ニュース

書籍

広報誌

Y-Classic 《こども青少年クラシック音楽普及プロジェクト》
公演一覧



トップ

公演一覧

過去公演

公演レポート

find us on facebook

follow us twitter

各公演の詳細は「+」をクリックしてご覧ください

公演タイトル	日時(開演)	会場
・ 東京交響楽団&サントリーホール「こども定期演奏会」2017年シーズン 楽器ア・ラ・カルト 第62回「メインディッシュはピアノとともに」	2017年11月4日 (土) 11時開演	サントリーホール 大ホール <東京>
対象年齢: 小学校1年生から 1回券3,500円(指定席) (年間会員券12,000円 全席指定・9月公演からの4公演分) *年齢にかかわらず、チケットはお一人様1枚ご用意ください。 問合先: サントリーホールチケットセンター TEL0570-55-0017 (営業時間 10:00~18:00 但し8月31日までは土日祝日は休業) HP (リンク): 公演詳細はこちらをクリック : ホームページ		
・ オークストラ・ディスカバリー2017 「魔法のオーケストラ」 第3回「歌うメロディ」	2017年11月12日 (日) 14時開演	京都コンサートホール 大ホール <京都>
対象年齢: 5歳から 指定席は完売(自由席(3階すべて、およびボディウム席)おとな(19歳以上) 2,000円 こども(5歳以上18歳以下) 1,000円 *5歳未満のお子様は、会場にお入りいただけません。1歳以上5歳未満のお子様は、託児ルームをご利用いただけます。(定員10名/お子様お1人につき1,000円/公演1週間前までに京響075-711-3110まで要申込み) *本公演は子ども対象の教育プログラムです。大人の方のみのお来場はそこの旨ご了承ください。 問合先: 京都コンサートホール TEL075-711-3231 HP (リンク): 公演詳細はこちらをクリック : ホームページ		

本会のクラシック音楽普及事業「Y-Classic~こども青少年クラシック音楽普及プロジェクト」では、未来を担う子供たちにクラシック音楽に触れる機会の拡大を図る事業として、青少年向けのコンサート情報をウェブサイトを集約する取り組みを行っています。前身のJapan Classic Festivalを2010年に開始してから、2015年の事業名・内容変更を経て、今年で7年目を迎えました。

今日クラシック音楽の愛好家や音楽会の来場者は中高年世代に偏りがちな現状があり、大人向けの格調高いものというイメージも従来から変わらずあります。その一方で、未就学児(時には0歳児から)入場可としたり、子ども達が興味を持てるよう構成や演出に工夫を凝らしたり、大人と子どもと一緒に楽しめる内容にしたりと、子ども・青少年向けの公演が全国で数多く開催されるようになってきました。公立ホールでもアウトリーチやワークショップ等の普及型事業の充実が図られています。

関東圏だけでも月に1千回近くのクラシック音楽公演が開催される中、そのような子ども・青少年向けの公演情報は取り紛れてしまいがちですが、それらをウェブサイト一元化する本事業は、国内唯一の取り組みとして、クラシック音楽の生演奏を子ども達に体験させたいと願う多くの方々からご好評をいただいています。

今年度Y-Classicのサイトではこれまでに全国119公演の情報を掲載しました(2017年11月9日現在)。また会員社の主催する1公演に親子ペア5組10名をご招待し、実際の公演を体験していただく活動も行いました。多くの子どもたちや青少年に感動を届け健全な育成を図ること、また未来のクラシック音楽ファンを増やしクラシック音楽業界の発展に貢献することは、本会の使命と考え、今後も優れた質の高いクラシックコンサート情報の紹介を、年間を通じて続けてまいります。

地域創造フェスティバル2017

一般財団法人地域創造では毎年、「地域創造フェスティバル」として、最新の事業紹介や公共ホールの事業・運営に役立つ情報提供等を行うイベントを開催しています。10回目となる今年は8月1日から8月3日までの3日間、東京芸術劇場(池袋)にて、シンポジウム、セミナー、アーティストのプレゼンテーション等が行われました。

そのうち本会が制作受託した公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティストプレゼンテーションでは、アーティスト58組・82名が次々と登場し、同事業での経験を生かして、トークや楽器体験等も交えたオリジナリティあふれる演奏を披露。全国のホール等からの来場者とアーティストが直接交流する機会もあり、各地での今後の活動につながる場となりました。

Buzz Five(金管五重奏)のプレゼンテーション



Topics

公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト 集合研修

一般財団法人地域創造による標記の研修会が、10月3日・4日の2日間行われました。(本会の制作協力事業)

これはオーディションにより選出された演奏家が、平成30・31年度の2年間、同事業登録アーティストとして全国でアウトリーチやコンサート活動を行うにあたり、アウトリーチのカリキュラム作りや地域で求められるアーティスト像について学び、来年度からの活動に備えるための研修会です。

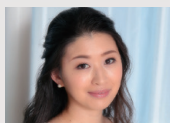
冒頭の内藤裕敬講師(南河内万歳一座座長)によるゼミでは、演劇の手法を生かしたコミュニケーションワークショップに全員が参加しました。仲道郁代講師(ピアニスト)は、社会における音楽家の使命、アウトリーチに取り組む意義やその果たす役割について、熱意をこめた講義をされました。内藤講師・仲道講師に津村卓講師(地域創造プロデューサー)も加わったまとめの座談会では、演劇や音楽のワークショップ事例等の紹介やアウトリーチから広がる可能性についての議論等が展開され、参加者からの積極的な発言も見られました。その他、地域創造のコーディネーターと登録アーティストによるプログラム開発のグループディスカッション等も行われました。

登録アーティスト8組12名の皆さんは、平成29年度中に実際のアウトリーチ活動を行う実地研修でさらに研鑽を積み、平成30年4月から登録アーティストとしての活動を始めます。ご期待ください。

＜平成30・31年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト＞ ※敬称略、順不同



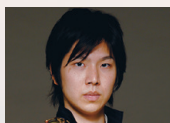
岡田 奏
[ピアノ]
©Kazashito Nakamura



酒井 有彩
[ピアノ]



中野 翔太
[ピアノ]



田中 拓也
[サクソフォン]



糸賀 修平
[テノール]
©Taira Tairadate



山本 奈央
[オカリナ]
©井村重人



泉 真由×松田 弦
[フルート、ギター]



アーバン・サクソフォン・カルテット
[サクソフォン四重奏]

※今回のオーディション合格者でマネジメントに所属していないフリーの演奏家については、当協会の紹介により全員マネジメントにご所属し、この活動を行っていただくこととなりました。

関西地区連絡協議会報告

今年度の新体制による関西地区連絡協議会が、7月20日ザ・シンフォニーホール会議室にて開催されました。冒頭、萩野美智子担当理事による挨拶がなされ、続いて喜多弘悦理事による司会進行のもと、参加者各位の自己紹介、関西地区連絡協議会のこれからの在り方について活発な議論が展開されました。まずは参加者一同による関西クラシック界の現状認識と理解に始まり、協会のスケールメリットを活かした諸活動の在り方や、行政に対する提言等について活発な意見交換がなされました。又、魅力ある協議会に向けて、セルフマネジメント・広報・人材育成の三本柱を掲げ、それぞれの担当者を決定する他、今後の開催計画、分科会の設置等について協議が行なわれました。

チラシを活用した新規広報ツールの開発に向けた調査・研究事業 始動

今年度の重点事業のひとつ、チラシを活用した新たな広報ツールの開発に向けた調査研究事業が始動しました。この事業は、クラシック界の主要な広報媒体である「チラシ」を効果的に活用し、新規の観客開拓と次世代の聴衆に情報を伝える為の手段として、スマートフォンを活用した「アプリ」の開発を、賛助会員のイーラスと共同で取り組むもので、既存の「チラシミュージアム(美術博物館)」、「チラシステージ(演劇)」のクラシック音楽版の展開に向けた取組みです。委員会には会員各社より10名以上の参画があり、10月25日の第1回委員会では、事業の背景、開発するアプリの概略とオリエンテーションがなされ、クラシック公演の特性等についてニーズの検討がなされています。この取組みは平成30年度にモデル施行を計画しておりますので、会員の皆様には乞うご期待下さい。

Activities

●7月13日 平成29年度第2回定例理事会

新体制における業務担当事務各位による今年度の計画発表と協議等を行いました。

●7月20日 関西地区連絡協議会

(詳細は2面参照)

●7月22日 日本音楽芸術マネジメント学会 理事会、第9回夏の研究会

本会の役員のうち2名が学会の理事を務めています。

●7月31日 心の復興音楽基金 2017年後期助成対象事業 応募受付開始

●8月1日～3日 地域創造フェスティバル2017

(詳細は1面参照)

●8月31日 心の復興音楽基金 2017年後期助成対象事業 応募締切

●8月31日 文化芸術基本法基本計画策定 ジャンル別懇談会

芸団協が主催した標記懇談会に本会の役員が出席し、文化芸術推進基本計画に向けて、音楽事業者の視点から意見を述べました。

●9月15日 心の復興音楽基金 2017年後期助成対象事業 決定

●9月26日 チラシを活用した新規広報ツールの開発に向けた調査・研究事業 担当事務協議

10月25日の第1回委員会に備え、今年度の議題やスケジュール等を検討しました。(委員会については2面参照)

●9月26日～10月1日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 愛知セッション 新城市公演

於:つくで交流館 出演:Les Vents Japonais(木管五重奏)

●10月25日 平成29年度第2回女性部会

クラシックコンサート界の女性スタッフの連携と情報交換に向けて、年数回、自由に参加者を募って開催しています。今回は「女性が働き続けるために」をテーマとし、各社での育児休業取得状況や時短勤務中の社員の配属先など、現状の情報交換や問題提起を行い、業界で多数働く女性スタッフの力をいかに生かせるか、出席者が実体験を基に語り合いました。また業界のPR・活性化のためのアイデアも検討しました。

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



7月19日 東京

出演: 沢崎 恵美/ソプラノ(日本オペラ振興会所属)
高見 信行/トランペット(プロ アルテムジケ所属)
瀧田 亮子/ピアノ



7月20日 大阪

出演: 吉岡 次郎/フルート(音楽芸術家協会所属)
長尾 洋史/ピアノ



9月20日 東京

出演: 高見 信行/トランペット(プロ アルテムジケ所属)
城 綾乃/ピアノ



9月21日 大阪

出演: Quintet H/木管五重奏(ミリオンコンサート協会所属)



10月18日 東京

出演: 早稲田 桜子/ヴァイオリン(プレリューディオ所属)
白石 光隆/ピアノ(プロ アルテムジケ所属)



10月19日 大阪

出演: 甲斐 摩耶/ヴァイオリン(音楽芸術家協会所属)
垣内 敦/ピアノ

心の復興音楽基金

～東日本大震災・熊本地震の被災地に音楽を届ける支援金～

心の復興音楽基金[運営:日本クラシック音楽事業協会内]では、東日本大震災・熊本地震の被災地に赴いて演奏活動等を行う音楽家に対して必要経費(交通費・宿泊費、調律費等)を助成する事業を行っています。

〈2017年度後期の助成活動決定〉

- 2017年10月20日(金)-22日(日) 逢えてよかったね友達プロジェクト～小原孝・気仙沼すがとよピアノを弾く会～(宮城県気仙沼市)
- 2017年11月26日(日)-30日(木) セツ・多賀城アウトリーチプログラム(宮城県七ヶ浜町、多賀城市)
- 2017年12月3日(日) 学校法人 東北文化学園大学「第九コンサート」(宮城県仙台市)
- 2018年2月2日(金)-3日(土) 音楽による福島まち造り2018年「古の響き・雅楽」(福島県福島市)
- 2018年3月3日(土) 春待ちコンサート2018(宮城県名取市)
- 2017年3月10日(土) 東日本大震災復興支援チャリティコンサート～クラシックエイドvol.8(東京都 ※参加する福島県の高校生の旅費支援)



心の復興音楽基金

What's New

会員情報

[人事]

正会員 一般財団法人住友生命福祉文化財団
理事長 田辺恭久
常務理事・いづみホール支配人 寺田浩

正会員 有限会社大阪アーティスト協会
会長 黒川浩明
代表取締役 西村典子

正会員 株式会社CBCテレビ事業部
部長 湯澤巧

正会員 公益財団法人ジェスク音楽文化振興会
評議員会議長 関田正幸(新任)
理事長 小泉慎一(新任)
専務理事 堤正浩(新任)

賛助会員 株式会社中京テレビ事業
代表取締役社長 菊谷隆司(新任)

賛助会員 株式会社東京国際フォーラム
代表取締役社長 上條清文(再任)
取締役 廣野研一(新任)

[移転・協会担当者変更]

正会員 株式会社音楽芸術家協会
新住所 〒156-0053 東京都世田谷区桜1-31-26
新TEL 03-3429-6189 FAXは設置無
E-mail onget@octone.net
新協会担当 鈴木郁子

[移転]

賛助会員 株式会社オフィス・フォルテ
新住所 〒135-0061 東京都江東区豊洲3丁目4-1-1004
新TEL 03-6220-3367 新FAX 03-6220-3369

賛助会員 公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)
新住所 〒102-8353 東京都千代田区六番町4-5
SME六番町ビル
新TEL 03-3515-5260 新FAX 03-3515-5262

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。



今後の活動予定

- 2017年12月8日 平成29年度第1回会員研修会
2018年3月上旬 平成29年度第2回会員研修会

会員向けの研修会として今年度は「コンサート会場やチケット販売におけるトラブル対処法」として、計2回予定しています。第1回は「さまざまなお客様対応」、第2回は「公演中止の際の対応策」を計画しています。この研修会を通じて、各社がこれまで慣例として行ってきたお客様対応、公演中止の際の対応などを、協会・業界として精査して、一定のルール作りに向けて取り組む予定です。詳細決まり次第会員の皆様へご案内します。

- 2018年1月11日 平成29年度第3回定例理事会、平成30年新年会

会場: eplus LIVING ROOM CAFE&DININGを予定

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

■11月15日 東京

高橋多佳子/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)

野口千代光/ヴァイオリン(コンサートイマジン所属)

■11月16日 大阪

黒田晋也/テノール(二期会21所属)

■12月20日 東京

片岡リサ/箏(ミリオンコンサート協会所属)

小谷口直子/クラリネット(ミリオンコンサート協会所属)

■12月21日 大阪

佐々木京子/ピアノ(ミリオンコンサート協会所属)

■1月17日 東京

喜名雅/チューバ(プロ アルテ ムジケ所属)

■1月18日 大阪

田村真寛/サクソフォン

(ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス所属)

※2月以降も開催します。

クラシック音楽事業ガイド 2017-2018

これは便利!



クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック

●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の90法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。
(隔年発行につき、今回は2019年発行予定)

定価 ■本体952円+税
発行 ■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



音楽とともに働きたい人の必携書!! クラシック・コンサート制作の 基礎知識 好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。
実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 ■2,160円(本体2,000円+税) お申込み・お問い合わせは事務局まで。
発行 ■株式会社ヤマハミュージックメディア
制作 ■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、69年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「こども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為の事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正 会 員 〈平成29年10月31日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスペン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(有)大阪アーティスト協会
(株)音楽芸術家協会
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
コンサートイマジネーション
(株)ザ・シンフォニーホール

(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(株)新演
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポプリモ
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサーツ
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
ハーモニージャパン(株)
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント

(株)ブライトワン
ブラームスホール協会
(株)プレルード・ディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛 助 会 員 〈平成29年10月31日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(株)王子ホール
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)オペラ王国社
(株)カメラータ・トウキョウ
Kトレーディング(株)
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス
(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業

(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあば)
(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株) 関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
(株)ノジリスタジオ
Hakuju Hall
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖ホール
フェスティバルホール

(株)フロレスタン
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局
(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
宗次ホール
ヤマハ(株)
(一財)ヤマハ音楽振興会
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ロームミュージックファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目1番1号 鈴友ビル4F TEL:03-5719-7601 FAX03-5719-7603

URL: <http://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp

Essay

コンサート・ソムリエとは? 《第2回》

今回は、私が考えるコンサート・ソムリエについてお話ししました。レストランのソムリエが、ワインとお客様の双方を独自の感覚で結びつけて満足度の高い食卓を演出するように、客席とステージのコミュニケーションが深まる工夫をしてコンサートを進行させるのが私の仕事です。

では具体的にどんな工夫が必要なのか。一つのポイントは演奏される曲の紹介ですね。ここはポイント。どんな音楽作品も誕生する時に背景や理由があり、初演されてからも演奏の歴史や解釈にいろいろなプロセスがあって現在に至ります。それを知っていると、聴き手は作品に親近感を覚えるのです。初対面の人でも、名前や職業、プロフィールを知ってから会うのとそうでないのとでは全然印象が違いますよね。それと同じです。

それならプログラムに解説が載っているじゃないか、とおっしゃる方もいるでしょう。しかしながら文字を読んで得る「理解」と、語る言葉で得られる「納得」には、分量や表現に実際のところ差があるものです。クラシック作品の多くは長い時間を経ているとその魅力が輝き続けていますから、ある種アンティークに似た存在。ですから、アンティークショップに出かけて素敵な骨董を手にしたお客様に、その品物をどのように説明するかを例にして考えてみます。

たとえば曲線が印象的な美しい絵が描かれた陶磁器のコーヒーカップがあるとします。そこには「1900年頃

フランス製」という説明と値段が示されたカードだけが付いていても、20世紀初頭のフランスのイメージを明確に描ける人は少ないでしょう。ところが、そこに店の主がやって来てこんな風に話してくれたらどうでしょう。

「1900年というのは、日本では明治33年ですね。19世紀最後のこの年、パリでは万国博覧会と第2回オリンピックが開催されたんですよ。万博にはなんと4800万人もの人がやって来て、イギリスに留学途中の夏目漱石も見物に行ったらしい。その万博のパビリオンの中に、当時もてはやされた工芸・美術品を扱う店があって、それが大人気スポットになりました。その店の名前は《新しい芸術》...フランス語で《アール・ヌーヴォー》と言いました。皆が知ってる有名な美術の様式名は、その店の名前から世に広まったんですね。このカップはね、そのアール・ヌーヴォー様式の典型ですよ。ほら、この花や茎の曲線、いい味でしょ?これがアール・ヌーヴォーの特徴なんです。当時のパリジェンヌがこのカップでコーヒー飲みながらエッフェル塔眺めていたかもしれませんよ...」

どうです?1900年のフランスの空気がなんとなくではあるけれど確実に感じられますよね。そのアンティーク・カップとお客様の距離が確実に縮まる。それは特別な愛情になるはず。私はいつもこの骨董屋の主のように音楽作品を紹介したいと思っています。

コンサートは表現の場ですから、その演奏者自身についても知ることが出来れば、もっと楽しくなります。司会者としてのコンサート・ソムリエは、ここでも客席と演奏者の距離を縮める役割を担います。例えば演奏者に作品や楽器の話をインタビューしたり、感想を聞くことができる場合は、それもまた重要なコミュニケーションの要素になりますね。ただし、紋切り型やあまりに予定調和な内容にならないように気をつけます。インタビューは適度な意外感や驚きがあるから面白くなる。これは私がテレビの現場で会得した経験則。

だから演奏会でインタビューがある時は、演奏者本人と事前に細かく打ち合わせはしません。そのほうが本番で面白くなるケースが圧倒的に多いからです。一流の音楽家が自分の言葉で喋る表現や内容は実に興味深いのです。それをいかに引き出すか、質問の仕方も含めて工夫を要しますが、うまく引き出すことができればお客様のコンサート満足度は確実に高まります。

このように、喋り言葉で「親近感」と「納得」を客席にとどけるのがコンサート・ソムリエの役割だと考えています。コンサートによってはじっくり演奏のみに集中して聴きたいプログラムも当然存在します。ですからすべてのコンサートに私のような役割が必要だ、などとは申しません。しかし、トークがあることで一層満足していただけるようになるコンサートがもっとあるはずだ...とも考えます。

エンタテインメントとしての演奏会に新たな価値をつけて、「また、クラシックを聴きにコンサートへ行きたい」と思わせる。そのためには単に原稿を読むだけの「司会」ではなく、自分で考え、構成し、音楽空間の空気を創って客席とコミュニケーションできるコンサート・ソムリエが必要なのです。



朝岡 聡

フリーアナウンサー&コンサート・ソムリエ

テレビ朝日のアナウンサーとして活躍。フリーとなつてからはテレビ・ラジオ出演のほか、オペラやクラシック・コンサートの司会や企画構成にもフィールドを広げ、芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,700人、登録曲 6万曲以上

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約 2,500 万 PV

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/



広告募集中

発行部数:600部

配布対象:協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(1月、4月、7月、10月予定)

料金:1枠(天地58mm×左右92mm)1万円(消費税別)

お問い合わせ:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5719-7601

E-mail. info@classic.or.jp